

学校混乱、一律休校撤回を

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するためとした安倍首相の要請を受け、2日から全国で小中高校・特別支援学校の一律休校が始まりました。甲賀市でも2日から小中学校は休校となりました。突然の休校で休みを余儀なくされた子どもたちはストレスをかかえ、保護者も先が見えない状況に戸惑いや不安が募るばかりです。また、学校現場では休校の対応に追われ混乱が続いています。

見では、感染が広がっていない地域まで含めてなぜ全国なのかの科学的な根拠は全く示されず、与党にも相談せず、安倍首相が独断で決めたことが明らかになりました。全国一律休校というやり方を撤回して、各自自治体の判断に委ね、現場の対応を国が財政的に支援することが求められます。

今回の突然の要請を受け、滋賀県教育委員会は十分な議論もないまま各市町に「適切に対応すること」と通知しましたが、通知後に文科省から「実情を踏まえた判断を」と新たな通知が出ていることから、日本共産党滋賀県議団は2月28日、三日月知事に對し、一律の休業要請を見直すこと、地域や学校の実状をよく聞き対応することを要望しました。

また2月29日には、甲賀市を含めて全県的な取り組みの情報交換と対策を講じるため、緊急の議員団会議を開きました。特に学校や保護者から不安や問題点が多く出されていることから、党として『なんでも電話相談』を開設することにしました。3月3日には、党市議団として教育委員会など関係各部の担当者に現状を確認、柔軟な対応を求めました。

甲賀市の対応	
小学校	2日から24日まで休校（家庭での生活が困難な場合は相談の上受け入れ）
中学校	2日から24日まで休校
幼稚園 保育園	開園。ただし可能な限り通園を控えるよう要請、給食は実施
学童保育	閉所

3月予算議会 2/18~3/25

初めての代表質問を終えて 岡田重美議員



代表質問は終わりましたが、議会はまだ続きます。引き続きみなさんの願い実現に向け、全力でがんばります。

3月議会が開会中ですが、去る2月27日には、各党派による代表質問が行われ、議員になって初めて党議員団を代表して質問しました。

岩永市長は今年が任期の最終年ということもあり、これまでの岩永市政を中心に大きく3つのテーマで質問をしました。一般質問とは違って、発言時間も質問方式も内容の点でも、緊張しながらの質問となりました。主なポイントは、
①『国政の焦点と市民のいのち・暮らしに関わる問題について』
安倍政権による国民いじめの政治、焦点の消費税・原発・憲法改正・気候変動など8つのテーマで、市長の認識を質し

ました。答弁は、いずれも「国の責任において決めること」との立場。そこで市民のいのちを守る立場の市長としての見解を再度求めましたが、答弁は変わらず残念でした。
②『4年で結果を出すとされた岩永市政4年の評価と課題について』
市長の基本姿勢について問いました。4年の間に進められた旧甲賀病院跡地の利活用や甲賀北工業団地などの事業では、住民の声を聞くという点は見受けられず、「真摯に耳を傾ける」とした市長の姿勢と矛盾するものではないかと質しました。

③『新年度予算案について』
暮らしが大変な時だからこそ、給食費無償化、補聴器補助など市民のいのち・暮らし優先の予算を、と迫りました。しかし前向きな答弁を引き出すには至りませんでした。地方自治体の役割は、国の悪政から市民のいのちと暮らしを守ることに、住民福祉の向上であることを強調して質問を終えました。

議案提案権いかして3件の意見書を提案

- 小西喜代次議員
◇カジノ汚職の徹底説明、カジノ解禁の廃止を求める
- 岡田重美議員
◇「全世代型社会保障検討会議」の中間報告を見直し社会保障制度の抜本的な拡充を求める
- 山岡光広議員
◇ジェンダー平等社会の実現を目指す関係法令の整備を求める

- 議会日程変更
- 5日～9日 一般質問
- 10日 厚生文教委員会
- 11日 総務委員会
産業建設委員会

日本共産党			
甲賀市議員団ニュース			
2020年 3月 8日 第299号			
 山岡 光広 甲南町森尻 16 TEL 86-2985 Fax 86-0415	 小西喜代次 信楽町勅旨 456 TEL 83-0765 Fax 83-0765	 岡田 重美 土山町南土山甲 78-15 TEL 66-0696 Fax 66-0696	